



7月1日から

新第一清掃工場が稼働

昭和五十八年度から工事を進めていた新しいごみ処理施設が、第一清掃工場内に完成し、七月一日から稼働しています。ごみ処理施設の命は焼却炉です。通常、焼却炉の寿命は十五年といわれていますが、私たちがのごみの出し方によつては炉の寿命をさらに五年・十年と延ばすことができます。例えば、「生ごみは水切りをして出す」「燃えるごみの中にカン・ビンなどを入れない」などです。六十四億円余の巨費を投じて、つくつた施設を、一年でも長くもたせましょう。

正しいごみの出し方です

でも！大切なのは ごみ対策につよ〜い味方

施設の概要

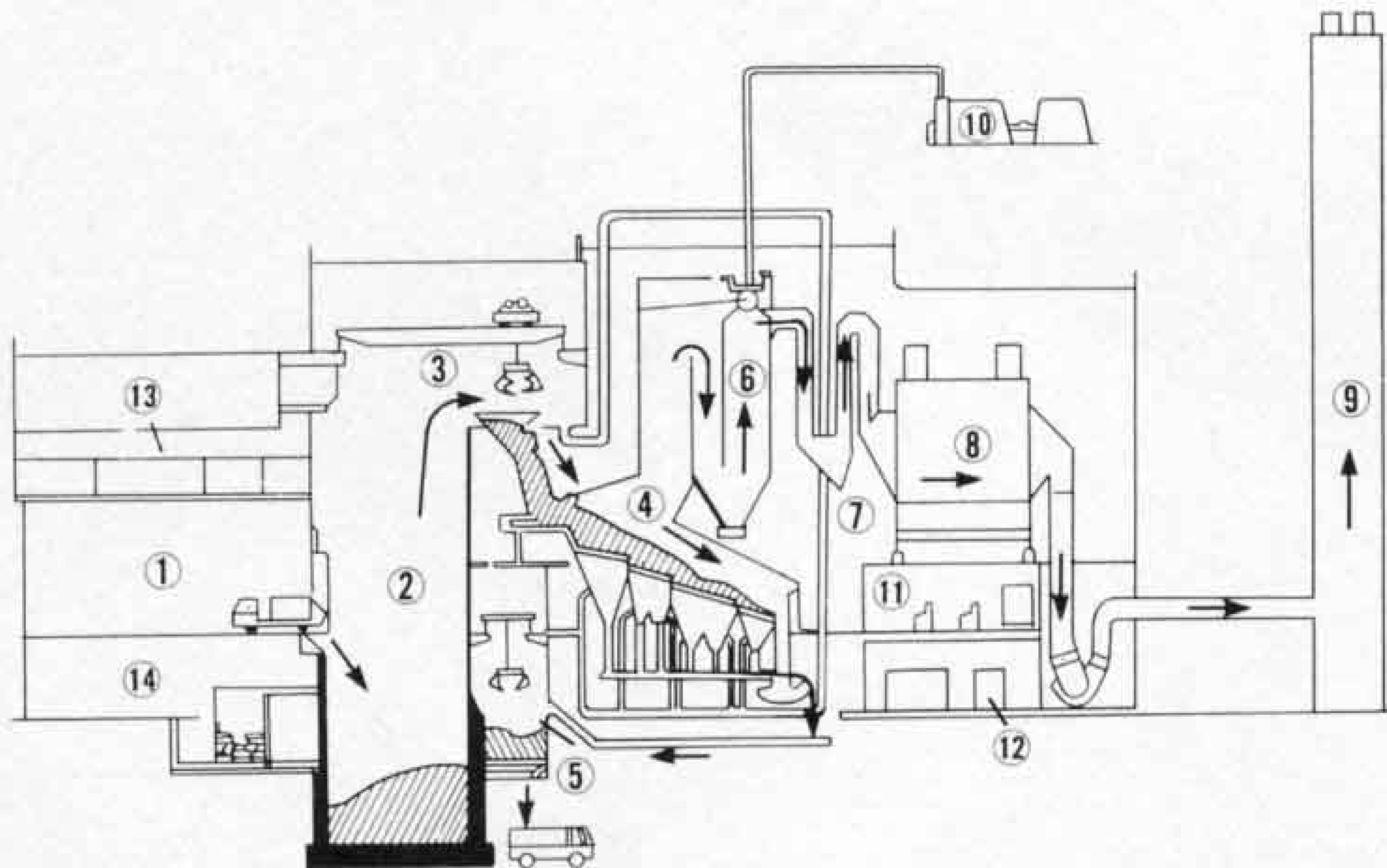
建築面積・構造 二、八八一平方メートル（延べ八、〇九二平方メートル）鉄骨鉄筋コンクリート地下一階、地上五階建て
焼却能力 一日 三〇〇トン（一五〇トン炉×二基）
総工費 六十四億四、八〇〇万円

新処理施設の特徴

私たちが毎日の生活の中で出しているごみは、年々増加するとともに多種・多様化しています。そこで、収集したごみを円滑に処理するためにつくられたのが新しいごみ処理施設です。新しいごみ処理施設は、近代的な設備を備え、今までの焼却場のイメージとは全く異なったものとなりました。では、その特徴を紹介しましょう。

- ・ごみを燃やしてできる熱を利用し、電気やお湯をつくるなど熱エネルギーの有効利用。
- ・排ガス、排水、臭気などが発生しない万全な公害対策。
- ・市民に親しんでもらえるような外観。
- ・二十四時間運転ができ、いつも安定して確実なごみ処理ができるようにコンピュータによる管理体制。
- ・ボイラーの水冷壁構造が日本に二つしかないというすぐれたもの。などです。

反転ストーカ式ごみ焼却炉



- 1、プラットホーム
- 2、ゴミピット
- 3、ゴミクレーン
- 4、焼却炉
- 5、灰ピット
- 6、ボイラー
- 7、有害ガス除却装置
- 8、電気集塵機
- 9、煙突
- 10、発電機室
- 11、中央制御室
- 12、電気処理室
- 13、管棟
- 14、排水処理室

また、この施設は単にごみを処理するだけでなく、その余熱を利用して、総合運動公園内に温水プールをつくる計画を進めています。

感想文

第一清掃工場を見学して

岩山文美 富士南小4年

5月26日は、工場を見学させていただいて、ありがとうございました。前よりごみのことがわかってきました。

ごみの山を見たとき、本当にあんなにたくさんのごみがでるのかな、とびっくりしてしまいました。

もし、市内から出たごみをしよりの人がいなかったら、わたしたちの市はどうなってしまうのだろうか、と思いました。

おじさんたちは、きかいを休ませないために、交代で24時間はたらいてごみをもやすのですね。

たいへんでしょうが、これからもがんばってください。

家に帰って、おばちゃんやお田さんに「水分のあるものは、ちゃんと水を切ってからビニールぶくろに入れて捨てて」とおねがいました。

わたしは、なるべくごみを出さないようにと思ったけど、なかなかおぼつかしいです。でも、1人がごみを1こでも少なくしようと思えば、それだけでも少なくなるのではないかと思いました。

せいそう工場のおじさんたち、いつまでも元気で、はたらいてください。



△近代的な設備を誇る新しい第一清掃工場

市内のごみの量

市内には燃せるごみの集積場所が三千六百二十五カ所（十七世帯に一カ所）、燃せないごみの集積場所が九百四十六カ所（六十五世帯に一カ所）あります。

これらの場所から集められたごみや第一清掃工場に持ち込まれたごみの量は、昨年一年間で五万六千九百九十二トン（一日平均百五十六トン）です。内訳は、燃せるごみ四万七千六百六十七トン、燃せないごみ五千六十三トン、かん・ビン類の資源ごみ四千二百六十五トン（還元金二千四百万円）でした。一方、ごみを処理するための経費は、昭和五十九年度で九億七千五百五十五万円、ごみ一トンを処理するために一万六千六百六十七円もの経費がかかっています。

生ごみは水切りを

梅雨が明けるといよいよ本格的

な夏です。夏場は、ごみの量もふえ、特に私たちの食卓をにぎわすスイカなどのくだものごみが生ごみとして出されます。

これらの生ごみには多量の水が含まれています。水分を多く含んだごみは、大変燃えにくく、燃やすために灯油を使用するなど経費が余計にかかるだけではなく、焼却炉の寿命を縮める原因ともなります。

また、ごみ袋に水がたまり破れやすく、犬や猫のえさ場となり、集積場所周辺にごみが散乱する結果となります。

そこで大事なのが、生ごみの水切りです。生ごみの水切りは経費の節減やごみの散乱防止だけでなく、通常十五年ぐらいいわれる焼却炉の寿命を延ばすことにも役立ちます。

これから夏場に向かい、生ごみの水切りを心掛けるとともにごみの減量、分別収集の徹底にご協力ください。

